

非常時に対応する職員様の巡視業務を支援

システム概要



3つの特徴

01 | オフライン用地図APIを利用し 安定したルート案内を実現する



巡視前に最新ルートダウンロードすることで、巡視中オフラインになっても継続して巡視ルートや巡視ポイントを表示します。これにより、電波の届かない箇所や山間部でも安定した巡視ができます。

02 | ルート作成機能によって 自由な巡視ルートの作成ができる



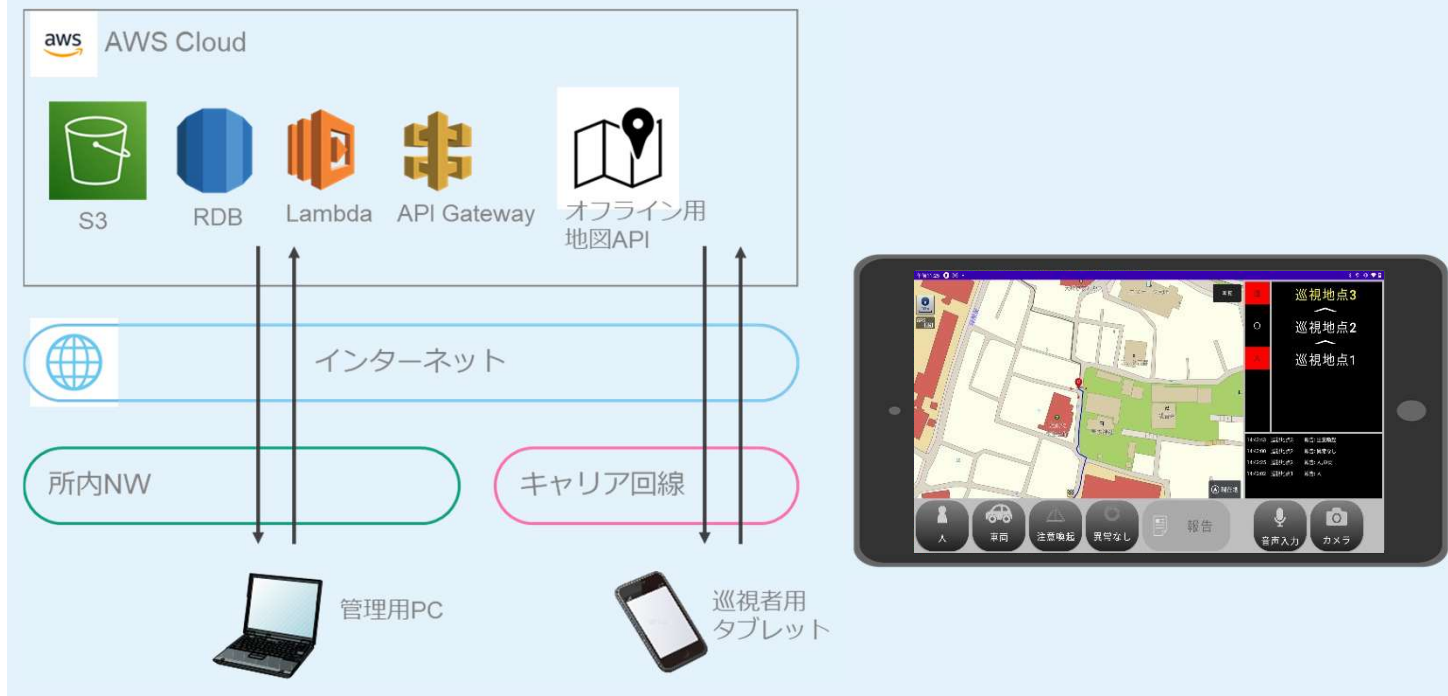
巡視ルート作成用のツールを利用することで一般的なナビではルート案内できない道を巡視ルートとして設定できます。管理用道路や狭い路地などであっても確実なルート案内が可能です。

03 | 巡視ポイントや注意箇所への接近を通知し 見落としやルート間違いを防止する



事前に設定したポイントに近付いたときに、接近を通知するメッセージや任意の画像をタブレット上に表示することでポイントの見落としを防止します。サーバに現在位置を通知することで管理所からも状態を把握することが可能です。

システム構成例



想定される活用シーン

- ・ダム放流前に下流域の人や車両の有無を確認する業務
- ・災害発生時や地震発生後の設備点検・巡視業務
- ・用水設備など広域で地図にない管理用道路を使用する現場への案内
- ・ダム湖などの水上ルートを使う巡視業務の支援

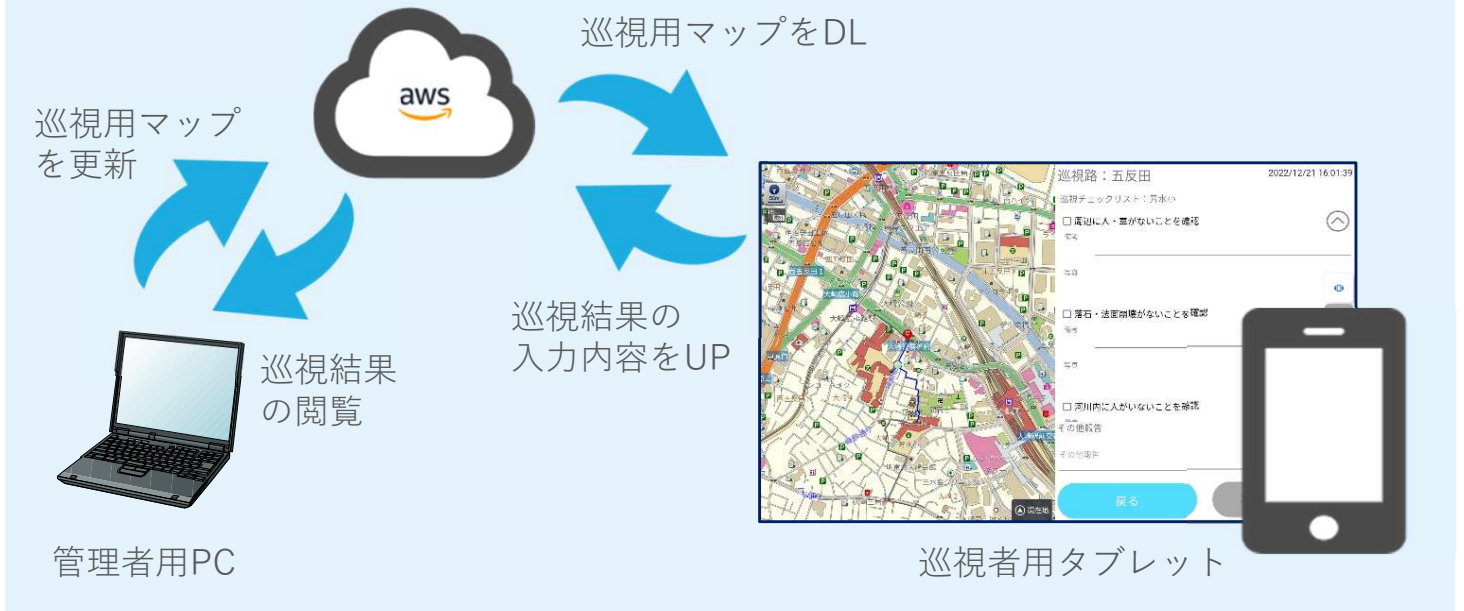
株式会社 柊ソフト開発

〒141-0032 東京都品川区大崎四丁目1番2号 ウィン第2五反田ビル8階
URL : <https://www.hiiragisoft.co.jp/>

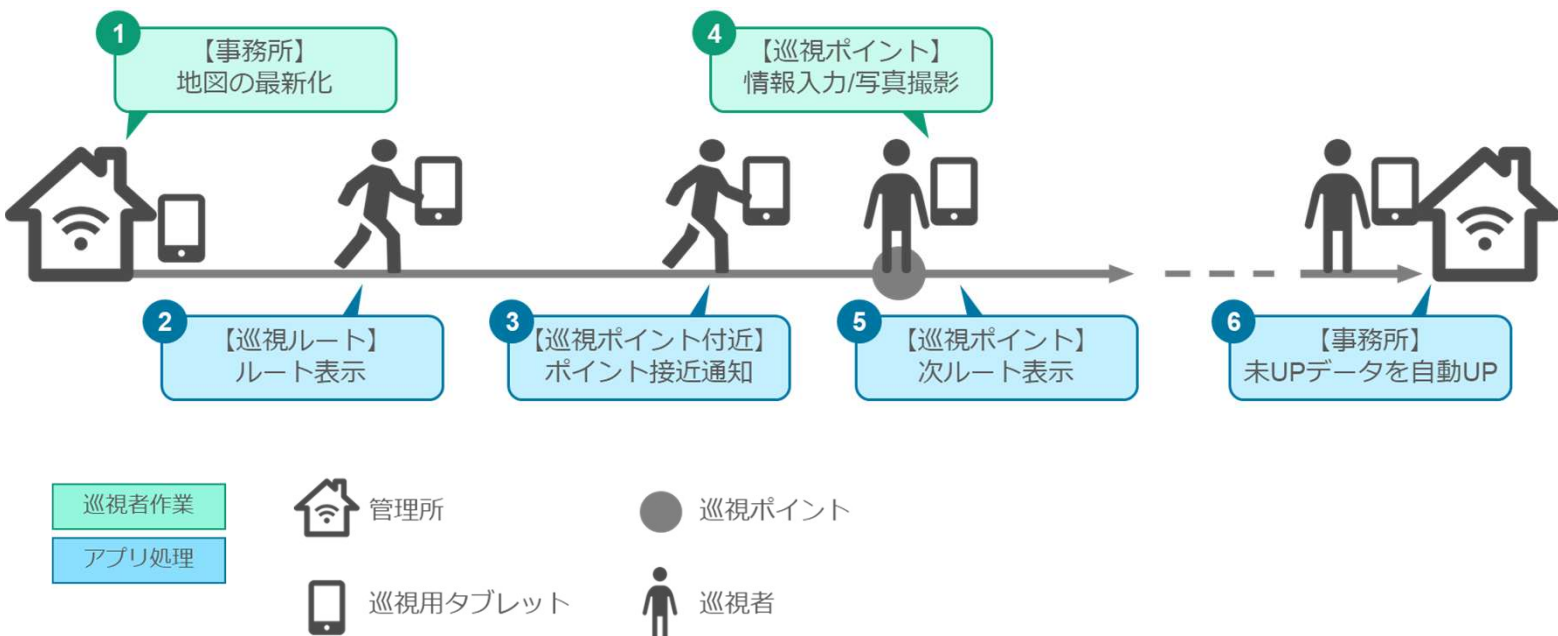


Hiiragi
Soft Development

さまざまな巡視業務を支援するシステム



運用イメージ



ルートや確認項目をすべて案内するので、緊急時に召集される、業務に慣れていない職員様でも安全かつ的確でスムーズな巡視業務が行えます。